

病児・病後児保育の取組好事例

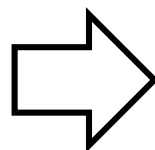


◆鳥取大学医学部附属病院 「とりっこハウス」

平成30年8月より、病児保育室を新築・拡充。それまで院内保育所内の一室で病児保育を行っていたが、新たな施設を整備した。

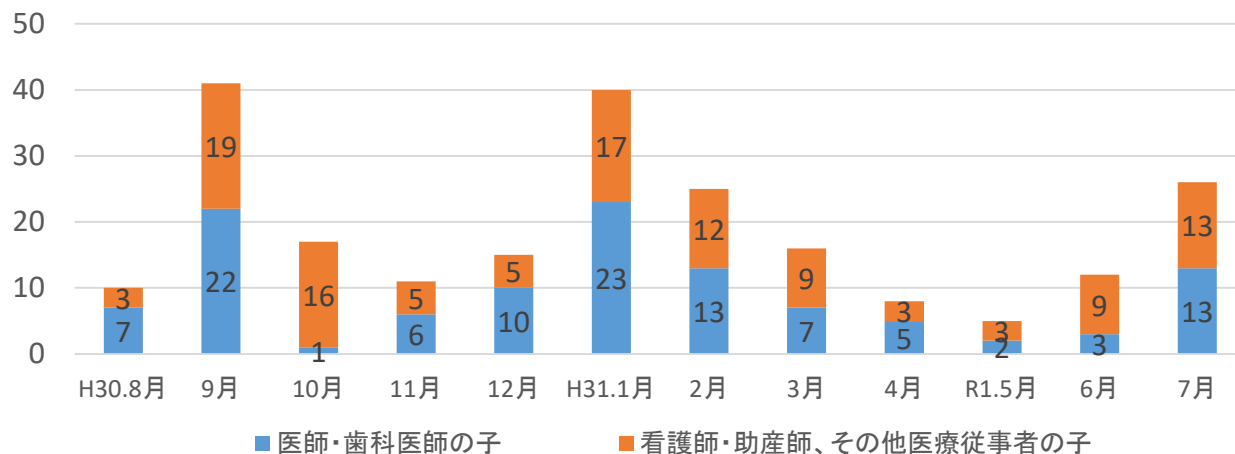
	～H30.7	H30.8～
部屋数	1室	4室
定員	2名	6名
対象疾患	インフルエンザ等の感染性の強い疾患は対象外	感染性の強い疾患も対象に
対象児	院内保育所利用児 生後43日～就学前	附属病院職員の子 生後43日～小学校4年生

*令和元年8月には、送迎時の一時駐車場所を、よりわかりやすくするために送迎スペースの駐車枠を新たに表示。



平成30年8月～令和元年7月末までの年間の利用件数の合計は226件。
うち約半数の112件が医師・歯科医師の利用。

年間利用状況(H30.8月～R1.7月)



登録者数 (2019年8月末)

登録者 (子ども)
139名

登録職員
96名 (医師26名)

利用者・登録者対象のアンケート (令和元年8月実施) 結果より

Q.【利用した方】病児保育利用にはどのくらい満足されましたか。

「非常に満足」「やや満足」との回答が93%

院内保育所園児以外も登録できるようになって、とても助かっている

近くに預ける親戚等がいなく、本当に助かっている

育児支援等の取り組みについて

◆鳥取大学医学部附属病院における取り組み

*仕事と育児の両立応援補助事業

勤務時間および通勤時間に、子どもの保育に支障がある場合に、子の一時預かり、病気の世話等の保育サービスを利用した場合、その保育料の3分の2を病院が補助するシステム

補助対象者：病院・医学部に所属する職員のうち、病院業務に携わる者

保育サービスの対象者：0歳～小学校6年生までの補助対象者の子

補助額：利用料（800円/1時間を上限とする）の3分の2

【年間利用件数】

年度	計	病児保育利用	一時預かり利用
H29	148件 (うち医師の利用:26件)	130件	18件
H30	210件 (うち医師の利用:51件)	149件 (うち「とりっこハウス」の利用:130件)	61件

*ワークライフバランス支援センターによる職員向けの育児相談対応、育児に関する情報提供

◆そのほか各病院における取り組み

*子育て・介護中の女性医師に対しての勤務軽減 (回答数：40病院)

内 容	病院数
残業免除または制限	24
当直(宿直・日直)免除または制限	33
担当業務軽減(外来のみ、など)	14
勤務時間短縮(短時間正職員含む)	28
本人の希望による雇用形態の変更(正職員・非常勤)	24

出典：鳥取県・鳥取大学医学部附属病院

*夏休み等の長期の休み期間中、院内に学童クラブを開設

*関連法人の運営する保育所に預ける場合、託児手当を支給

*育児に関する相談窓口の設置

など

院内保育の設置が難しい病院では・・・

★配置人員にゆとりをもたせて多様な勤務形態（ワークライフバランス）を全職員に保障

★未就学の子がいるスタッフへ保育料の補助として育児支援手当を支給



男女共同参画における医師会と鳥取大学の連携について

◆鳥取県女性医師の会（平成29年度～）

鳥取県医師会と鳥取大学医学部附属病院との共催により開催。

今年度は11月24日（日）にホテルニューオータニ鳥取において開催予定。



第2回鳥取県女性医師の会の様子
(2019.1.6)

◆鳥取県医師会女性医師支援委員会

鳥取大学医学部附属病院より2名が委員として参画。

大学と県医師会および各地区医師会との情報共有を行う。

◆ようこそ、鳥取県へ～初期臨床研修医歓迎のタベ～

平成28年度より開催している。今年度は「男女共同参画社会における医師会の支援・取り組み」と題して、男女共同参画に関する講演を行った。

◆鳥取大学医学部附属病院ワークライフバランス支援センターとの連携